

畑作物産地形成促進事業（大豆）の取組メニュー及び実績確認方法

※ 畑作物本化作化促進メニュー（⑥均平作業（傾斜均平）、⑪排水対策、⑭土層改良、⑮畦畔除去）の中から必ず1つ含めて3つ以上の取組を実施することが交付の要件となります。

※ 畑作物本化作化促進メニューの「排水対策」として「心土破碎」又は「額縁明渠」を選択することも可能ですが、その場合は、これを除いた取組を3つ以上実施すること

※ 本事業の要望調査の開始日（令和7年12月16日）以降の令和8年産（基幹作）の取組が対象

番号	取組メニュー	取組内容・取組基準	実績確認方法	写真撮影のポイント等
①	大豆300A技術	研究機関が開発した大豆300A技術及びそれに類する播種技術の実施 ・300A技術やそれに類する畝立て播種や狭畦密植栽培といった生産性の向上につながる播種技術に取り組むこと	・実績報告書（個票）の提出 ・資材購入伝票の写しの提出	<input type="checkbox"/> 播種作業中の写真 ※耕運同時畝立て技術などを想定
②	難防除雑草対策	総合的防除といった薬剤以外の方法による帰化アサガオ類やアレチウリ等の難防除雑草の防除 ・難防除雑草である、帰化アサガオ類、アレチウリ、ヒロハフウリンホオズキ、カロライナツクサ、イヌホオズキ、オオブタクサ、ニシキアオイを総合的防除といった薬剤以外の方法により防除すること（薬剤を組み合わせることも可とするが、薬剤のみによる防除は対象外）	・作業日誌により確認 ・総合的防除（機械除草、中耕培土、狭畦栽培等）の取組の作業写真	<input type="checkbox"/> 使用機械の写真 または <input type="checkbox"/> 作業中の写真
③	土壌診断等を踏まえた土づくり	土壌診断等に基づく有機質資材や土壌改良資材の施用 ・pH、窒素、リン、カリについて分析を行う土壌診断又はセンシング機器を用いた生育診断の結果に基づいて、有機質資材、土壌改良資材の施用、又は緑肥作物を作付すること（化学肥料の併用も可能）	・実績報告書（個票）の提出 ・診断結果及び資材購入伝票の写しの提出	
④	新品種の導入	単収の高位安定化等に資する新品種の作付 ・平成20年度以降に育成された単収の高位安定化に資する品種を新たに作付すること ※「里のほほえみ」などが対象	・作業日誌により確認 ※新たに導入した面積に限る ・種子購入伝票の写しを提出	
⑤	効率的な施肥	ピンポイント施肥の実施 ・一斉追肥と比較し施肥量を削減すること	・実績報告書（個票）の提出 ・資材購入伝票の写し	
⑥	均平作業（傾斜均平）	レーザーレベラーやGPSレベラーを用いた均平作業	・実績報告書（個票）の提出 ・作業中の写真の提出	<input type="checkbox"/> 使用機械の写真 または <input type="checkbox"/> 作業中の写真
⑦	摘心栽培	—	・作業日誌により確認	
⑧	畝間灌水	—	・作業日誌により確認	
⑨	化学肥料の使用量削減	堆肥利用等により、化学肥料の使用量の30%以上削減 ・化学肥料の使用量を地域の慣行レベルと比べて30%以上削減すること	・作業日誌により確認	
⑩	化学農薬の使用量削減	総合的な防除体系の確立等により、化学農薬の使用量の50%以上削減 ・化学農薬の使用量を地域の慣行レベルと比べて50%以上削減すること	・作業日誌により確認	
⑪	排水対策	弾丸暗渠、有材補助暗渠、無材穿孔暗渠、深耕 ・上記の排水対策のうち、土壌条件に合った対策に取り組むこと	・作業日誌により確認 ・作業中の写真の提出	代表的なほ場における <input type="checkbox"/> ほ場の写真（深耕） または <input type="checkbox"/> 作業中の写真（弾丸暗渠など）
⑫	新たに実施する農業機械の共同利用	地域における農業機械の共同利用やシェアリングサービスの新規の活用 ・当年度に新たに農業経営体間で農業機械の共同利用を行うこと又は当年度に新たに農業機械のシェアリングサービスを活用すること ※取得価格50万円以上が対象	・実績報告書（個票）の提出 ・作業中の写真の提出	<input type="checkbox"/> 使用機械の写真 または <input type="checkbox"/> 作業中の写真
⑬	新たに実施するスマート農業機器の活用	ドローンや水管理システム等の新規の活用 ・当年度に新たにロボット、AI、IoTなどの先端技術を活用したスマート農業機器・システムを使用すること	・実績報告書（個票）の提出 ・作業中の写真の提出	<input type="checkbox"/> 使用機械の写真 または <input type="checkbox"/> 作業中の写真
⑭	土層改良	耕土の確保や土層の機能改善のための客土又は除塵の実施 ・除塵については農業機械を使用すること（人力除去は対象外）	・実績報告書（個票）の提出 ・作業中の写真の提出	<input type="checkbox"/> 作業中の写真
⑮	畦畔除去	効率的な営農のための畦畔除去 ・交付対象水田に該当する範囲において、一時的に畦畔を除去すること	・実績報告書（個票）の提出 ・作業の写真の提出	<input type="checkbox"/> 作業前及び作業後の写真
⑯	ほ場由来の温室効果ガスの削減	ほ場由来の一酸化二窒素削減に向けた取組の実施 ・局所施肥、分施、緩効性肥料の施用、のいずれかに取り組むこと	（局所施肥の場合） ・作業中の写真 （分施・緩効性肥料の場合） ・作業日誌により確認	（局所施肥の場合） <input type="checkbox"/> 作業中の写真
⑰	ほ場への炭素貯留	ほ場への炭素貯留に向けた取組を実施 ・バイオ炭の施用、不耕起又は省耕起栽培、のいずれかに取り組むこと	・作業中の写真の提出	<input type="checkbox"/> バイオ炭の施用、不耕起または省耕起栽培が分かる写真
-	心土破碎、額縁明渠	額縁明渠 又は 心土破碎を実施すること ※畑作物本化作化促進メニューの対象であるが取組メニューの対象外	・作業中の写真の提出	<input type="checkbox"/> 作業中の写真

写真必要

写真必要

写真必要